

## ポルトガルの文学を読んでみませんか

### について

#### ポルトガルの文学を読んでみませんか

ポルトガルの文学を読んでみませんか。

好きな作家や影響を受けた作品を読み直してみるのもいいですね。これまで知ることのなかった世界に目を向けてみるのはどうでしょう。ポルトガルの作家たちの作品はいかがですか？すでにご存じの作家の他にも多くの作家がいることに驚かれることでしょう。

インスピレーションを与えてくれる文章、作家や作品に見るポルトガルの文化はもちろん、その普遍的で世界に通じる人間の内面の物語に触れてください。

**ご紹介する作家をオンライン書店で探してください。** お住まいの国で出版されている作品をお知りになりたい場合には、Directorate General for Book, Archives and Librariesの[オンラインカタログ](#)で検索できます。

良い本に巡り合えますように！

**人生は自分が作るもの。旅する者が旅そのもの。目に映るものは、見ているものではなく、自分自身。**

フェルナンド・ペソア (Fernando Pessoa)

不安の書 (The Book of Disquiet)、1982年

**世界？それはなに？私の言葉が咲き乱れる庭。**

フロルベラ・エスパンカ (Florbela Espanca)

Charneca em Flor、1931年

**しゃちほこばった歩き方ほど堅物な性格が現れるものはないね。**

エッサ・デ・ケイロース (Eça de Queiroz)

Uma Campanha Alegre、1890年

**かつて渡った者としてない海を進む**

ルイス・デ・カモンイス (Luís Vaz de Camões)

ウズ・ルジアダス (Os Lusíadas)、1572年

**ひとつの旅の終わりは新しい旅の始まりだ。見逃していたものを見つけなくてはならない。**

ジョゼ・サラマーゴ (José Saramago)

ポルトガルへの旅 (Journey to Portugal)、1981年1981

\*注: ポルトガルの作家の引用については、無料翻訳を使用した